

平成23年3月期 第1四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成22年8月10日

上場会社名 ジオマテック株式会社 上場取引所 J Q  
 コード番号 6907 URL <http://www.geomatec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 隆造  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 中村 和正 (TEL) 045-222-5720  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績 (平成22年4月1日~平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	2,319	75.6	389	—	395	—	404	—
22年3月期第1四半期	1,320	△52.4	△271	—	△244	—	△246	—

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	48 30	— —
22年3月期第1四半期	△29 38	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	19,759	15,760	79.8	1,880 15
22年3月期	19,846	15,533	78.3	1,853 07

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 15,760百万円 22年3月期 15,533百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	— —	7 50	— —	15 00	22 50
23年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
23年3月期 (予想)	— —	15 00	— —	15 00	30 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想 (平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期 (累計) は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	4,600	48.0	600	—	650	—	650	—	77.54
通期	9,400	19.2	1,100	188.9	1,200	192.2	1,200	196.4	143.15

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規一社（社名）、除外一社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期1Q	9,152,400株	22年3月期	9,152,400株
② 期末自己株式数	23年3月期1Q	769,663株	22年3月期	769,663株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期1Q	8,382,737株	22年3月期1Q	8,382,760株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【添付資料】

目 次

	頁
1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア諸国の経済成長に支えられて輸出や生産、設備投資に復調が感じられるものの、自立的な回復力はなお弱く、また、欧州諸国の財政不安やそれに伴う円高の進行等先行きの見通しは不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境の中、当社グループ製品の主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ（FPD）市場や光学機器部品市場につきましては、前年度後半からの高水準な需要が継続するなど、全般的に堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるFPD用基板につきましては、中小型液晶（LCD）パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜は、カーナビゲーションやスマートフォン・スレートPCなどのモバイル機器向けに需要は安定的に推移いたしました。また、光学機器用部品につきましてもデータ対応型液晶プロジェクター向けに需要は安定的に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、23億19百万円（前年同四半期比75.6%増）となりました。損益につきましては、売上高の増加に加え、継続的に実施している生産性向上策、経費削減効果により、経常利益は3億95百万円（前年同四半期は2億44百万円の経常損失）、四半期純利益は4億4百万円（前年同四半期は2億46百万円の四半期純損失）となりました。

品目別の状況は、次のとおりであります。

## (FPD用基板)

FPD用基板につきましては、カーナビゲーション向けタッチパネル用基板は、自動車生産台数の回復を受け需要は堅調に推移いたしました。また、モバイル機器向けタッチパネル用基板につきましては、スマートフォンの販売伸張により需要は堅調に推移いたしました。

LCDパネル基板につきましては、スマートフォンやスレートPCなどのモバイル機器向けに帯電防止用膜の需要の広がりが見られたことから堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は17億30百万円（前年同四半期比108.4%増）となりました。

## (光学機器用部品)

光学機器用部品につきましては、学校等公共機関向けデータ対応型液晶プロジェクター用の光学機器部品で需要の増加が見られるなど安定的に推移いたしました。

この結果、売上高は4億15百万円（前年同四半期比18.6%増）となりました。

## (その他)

その他につきましては、太陽電池向け電極膜や装飾用加飾膜などとともに、その他薄膜製品の販売活動に取り組みました。

この結果、売上高は1億73百万円（前年同四半期比24.0%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態を前連結会計年度末と比較すると、総資産が87百万円減少し、純資産が2億26百万円増加したことから自己資本比率は79.8%となりました。

増減の主なもの、固定資産では投資有価証券が87百万円の減少となりました。流動負債では引当金が87百万円減少し、固定負債では長期借入金が1億47百万円減少しました。純資産では利益剰余金が2億79百万円増加し、評価・換算差額等が64百万円減少しました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ14百万円増加し、76億17百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は5億38百万円（前年同四半期比141.6%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損益が3億83百万円の黒字となったことや減価償却費1億63百万円の資金増加要因等があったことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は2億15百万円（前年同四半期比70.6%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億12百万円によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は3億7百万円（前年同四半期比7.4%減）となりました。これは、長期借入金の返済額1億81百万円及び配当金の支払額1億25百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループにおきましては、カーナビゲーションやスマートフォン・スレートPCなどのモバイル機器向けにタッチパネル用基板、携帯電話・スマートフォン・その他モバイル機器向けLCD用基板などの製品が、引き続き堅調に推移しました。また、継続的に実施している生産性向上策、経費削減効果により、第1四半期累計期間の連結業績は想定を上回りました。

このような状況を踏まえ、平成23年度3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想について、下記のとおり見直しを行いました。なお、通期の業績予想につきましては先行き不透明な状況であることから、平成22年5月20日に公表した予想数値の見直しを行っておりません。

#### 平成23年3月期 第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正

(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成22年5月20日)	4,600	550	600	600	71.58
今回修正予想 (B)	4,600	600	650	650	77.54
増減額 (B-A)	0	50	50	50	
増減率 (%)	0.0	9.1	8.3	8.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	3,107	△254	△234	△238	△28.46

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 簡便な会計処理

- ① 当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
- ② 減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益は40千円減少し、税金等調整前四半期純利益は18,615千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,065,453	7,050,855
受取手形及び売掛金	2,886,200	2,904,623
有価証券	552,659	552,645
商品及び製品	140,242	161,328
仕掛品	156,195	159,739
原材料及び貯蔵品	593,605	572,462
その他	136,827	109,922
貸倒引当金	△2,100	△2,073
流動資産合計	11,529,084	11,509,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,071,638	2,100,315
機械装置及び運搬具(純額)	1,764,206	1,855,703
土地	2,500,162	2,500,162
その他(純額)	463,712	379,036
有形固定資産合計	6,799,719	6,835,218
無形固定資産		
45,451	45,451	45,808
投資その他の資産		
投資有価証券	636,944	712,385
その他	750,494	746,719
貸倒引当金	△2,386	△2,761
投資その他の資産合計	1,385,053	1,456,344
固定資産合計	8,230,224	8,337,371
資産合計	19,759,308	19,846,874

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	698,916	714,481
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	669,708	704,608
未払法人税等	11,834	28,748
引当金	91,043	178,475
その他	499,305	538,724
流動負債合計	2,070,809	2,265,037
固定負債		
長期借入金	1,419,435	1,566,437
退職給付引当金	233,546	225,788
役員退職慰労引当金	252,095	252,095
その他	22,608	3,675
固定負債合計	1,927,685	2,047,995
負債合計	3,998,494	4,313,033
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,043,850	4,043,850
資本剰余金	8,297,350	8,297,350
利益剰余金	4,346,894	4,067,749
自己株式	△811,059	△811,059
株主資本合計	15,877,035	15,597,890
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△16,941	59,465
為替換算調整勘定	△99,280	△123,515
評価・換算差額等合計	△116,221	△64,049
純資産合計	15,760,814	15,533,840
負債純資産合計	19,759,308	19,846,874

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,320,346	2,319,133
売上原価	1,172,121	1,498,077
売上総利益	148,224	821,055
販売費及び一般管理費	419,488	431,866
営業利益又は営業損失(△)	△271,264	389,189
営業外収益		
受取利息	9,267	7,872
受取配当金	5,589	5,678
為替差益	13,963	—
不動産賃貸料	7,785	8,710
その他	3,810	4,606
営業外収益合計	40,416	26,867
営業外費用		
支払利息	8,749	8,195
為替差損	—	6,095
不動産賃貸費用	3,590	3,905
その他	1,065	2,120
営業外費用合計	13,405	20,317
経常利益又は経常損失(△)	△244,252	395,739
特別利益		
貸倒引当金戻入額	385	348
固定資産売却益	949	6,226
特別利益合計	1,335	6,575
特別損失		
投資有価証券評価損	1,815	—
固定資産処分損	0	290
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	18,574
特別損失合計	1,815	18,865
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△244,732	383,449
法人税、住民税及び事業税	2,777	2,777
法人税等調整額	△1,213	△24,214
法人税等合計	1,563	△21,437
少数株主損益調整前四半期純利益	—	404,886
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△246,296	404,886



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△244,732	383,449
減価償却費	184,266	163,305
固定資産処分損益(△は益)	△949	△5,935
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	18,574
投資有価証券評価損益(△は益)	1,815	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△385	△348
賞与引当金の増減額(△は減少)	△65,682	△82,431
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△5,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,773	7,758
受取利息及び受取配当金	△14,857	△13,551
支払利息	8,749	8,195
為替差損益(△は益)	△27,333	3,307
売上債権の増減額(△は増加)	209,760	29,989
たな卸資産の増減額(△は増加)	24,881	5,696
仕入債務の増減額(△は減少)	38,730	△17,103
その他	115,834	48,474
小計	227,324	544,382
利息及び配当金の受取額	15,131	12,835
利息の支払額	△8,633	△8,071
法人税等の支払額	△11,110	△11,110
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,712	538,036
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△400	△400
定期預金の払戻による収入	400	400
有形固定資産の取得による支出	△127,966	△212,284
投資有価証券の取得による支出	△1,216	△2,625
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,650	1,659
貸付けによる支出	△3,180	△7,629
貸付金の回収による収入	4,286	5,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126,426	△215,686
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	△20,000	—
長期借入金の返済による支出	△186,417	△181,902
配当金の支払額	△125,741	△125,741
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332,158	△307,643
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,453	△94
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△221,419	14,612
現金及び現金同等物の期首残高	7,965,213	7,603,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,743,793	7,617,712

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。